

## 農業農村整備事業関連情報

熊本農業高等学校農業土木科の学生が実際のほ場整備を学びます！！  
**高校生のためのほ場整備実習について**  
【第1回 令和元年（2019年）8月19日】

県立熊本農業高等学校（以下「熊農」という。）に隣接する元三・木部地区<sup>もとみ きへ</sup>の農地は、平均7 a程度の狭小で未整備な農地です。そこで、今年度からほ場整備事業に着手し、標準区画50 aの農地へ拡大して生産性の向上を図ることとしています。

一方、熊農には農業土木を学ぶための農業土木科があります。

熊農の隣の農地でほ場整備が行われるのは、大変貴重な機会です。

県央広域本部では、この機会を将来の農業土木技術者育成につなげるため、熊農農業土木科の2年生を対象に元三・木部地区のほ場整備を教材とした実習を行うこととしており、第1回を令和元年（2019年）8月19日に開催しました。

### 1 実習の内容

- 元三・木部地区のほ場整備計画について【講義】
- 地区界測量<sup>\*</sup>の概要について【講義】
- 地区界測量の現場実習【実習】

※ ほ場整備を行う区域と行わない区域の境界を確定するために行う測量です。



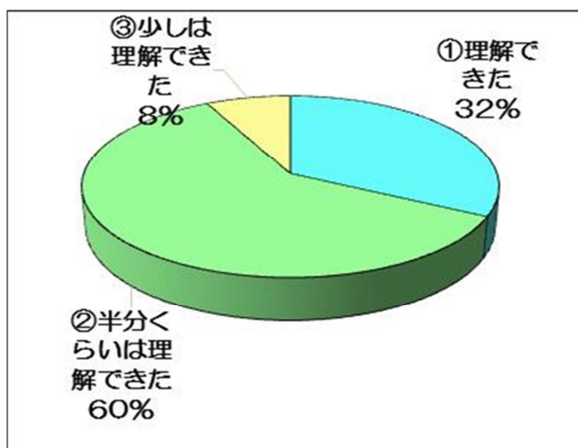
【講義】



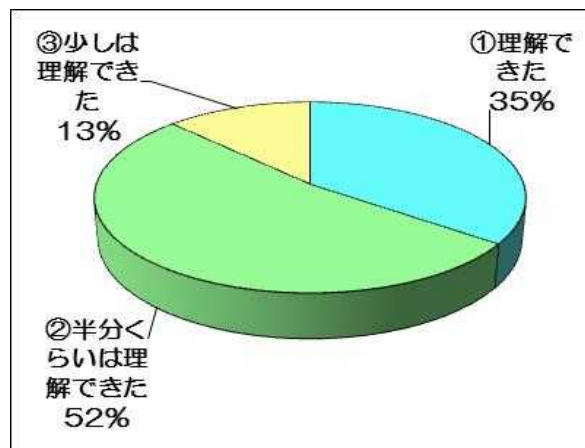
【実習】

### 2 アンケート結果

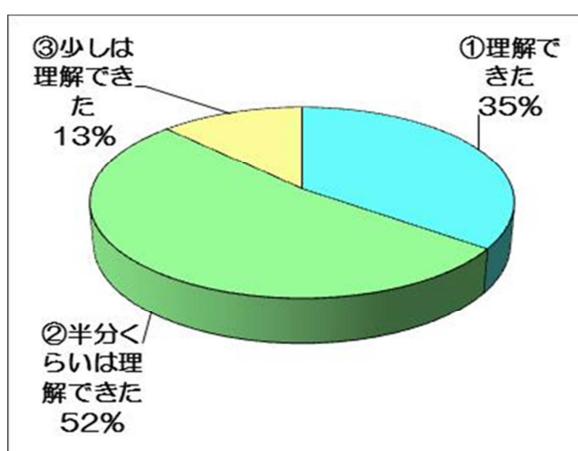
- 「元三・木部地区のほ場計画【講義】」、「地区界測量の概要【講義】」、「地区界測量の現場実習【実習】」とも9割の生徒が理解しました。



元三・木部地区のほ場整備計画【講義】



地区界測量の概要【講義】



【地区界測量の現場実習【実習】

### 3 感想

- 普段登校している道は田畑が多く、祖父母が農家をしていて手伝いをしたりしているが、農道は車両1台しか通行できなかったり、水路が土で作られているところが多いので、農作業がとてもしづらい。早くほ場整備工事が完了してほしい。
- 地区界測量は、ほ場整備を行う区域（地区内）と行わない区域（地区外）を明らかにするために行うので、丁寧に作業をしないといけないと思った。
- GNSS 測量は、人工衛星からの信号を用いて正確な位置（座標）を決めるので、技術が進歩していると思った。授業でもトータルステーションを使った実習があるが、こんな時に生かされるのだなと思った。学校の機器と違って自動追尾機能や自動視準機能があるので、測量する人が1回ずつ目標に合わせる必要がないので、精度が高い測量を簡単に効率よく行うことができると思った。
- 普段の授業では学ぶことのできない、とても貴重な体験をすることができた。

### 連絡

県央広域本部農林部農地整備課  
 計画調整班 後藤、乗田、東田

※ 第2回は、10月9日に行う予定です。